



南戸塚中だより 11月号



令和5年11月22日

実りの秋

校長 鈴木 博道

今年立冬を迎えてもなお夏のような暑い日が続きましたが、ようやく秋らしいさわやかな気候になりました。今年度は感染拡大防止を理由とした様々な制限は解除され、多くの保護者や地域の方々に見守っていただきながら体育祭や文化発表会を無事に開催することができました。生徒たちは全校あげての行事を終え、現在は日々の学習に熱心に取り組んでいます。今月は3度目の定期試験もありました。スポーツ、芸術に続いて次は学問の秋といったところでしょうか。そして、気が付けば今年も残すところあとひと月あまりとなりました。今後、3年生の皆さんは卒業後の進路決定に向けて本格的な準備を進め、1・2年生の皆さんはそれぞれ職業講話・職場体験を通して自身の将来の生き方について考えていきます。一年の締めくくりとなる日々、実りの多い充実した時間を過ごしてほしいと思います。

個別支援学級 戸塚区合同宿泊学習会

11月6日（月）と7日（火）の2日間、戸塚区の個別支援級に在籍する生徒達と、神奈川県愛川町にある「愛川ふれあいの村」で合同宿泊学習会に行ってきました。この2日間は戸塚区の生徒たちで交流を深めながら、始めの集いからレクリエーション、清掃、終わりの集いまで生徒たちが行事の運営に関わり、どの生徒も係などの役割に向き合う姿がありました。また終わりの集いでは、自然に囲まれた体育館の中で3年生一人ひとりが1、2年生に向けて中学校生活の思い出や、どんな学校生活を送ってほしいのか、それぞれの思い溢れる言葉がありました。この貴重な時間を過ごす生徒たちの凛々しさは記憶に残る特別な2日間になりました。



SEPro（スーパーイングリッシュプログラム）実施



11月20日（月）・21日（火）に1年生と個別支援学級の英語科の授業でSEPro（セプロ）が行われました。区内6名のAETが教室に招かれ、グループでゲームや会話を楽しみました。生徒たちは初対面のAETにも、これまでに学習した英語を駆使して積極的にコミュニケーションを図っていました。来月は3年生で実施する予定です。



公開授業・教育懇談会の開催

11月10日（金）は1日公開授業が行われました。天気の悪い日でしたが、朝から保護者の方の参観があり、5時間目は地域、PTA、小学校の方々も参観、その後教育懇談会を実施しました。

懇談会は「今どきの中学生とは？」というテーマで、本校生徒会本部役員に参加してもらい、大人からの質問に回答する形で進めました。会話することによって中学生への理解が深まり、あっという間に時間が過ぎていきました。ありがとうございました。



参加者の感想（抜粋）

- その場ですぐに答えられるのがすごいと思いました。生徒会に自分でやりたいと思って入っている方々なので、今後も経験を生かして頑張ってもらいたいと思いました。
- 自分なりの根拠を持ち、論理的に話す姿に感動しました。
- 昔と変化したところと変わってないな—というところがありました。中学生すてき。
- 子供たちのストレートな意見を聞いて良かった。今後もサポートしていきたい。

中学生アスリート向け栄養講習会の開催

11月11日（土）に本校体育館にて、アスリートの栄養管理を行っている管理栄養士による栄養講習会を体づくりの一環として開催いたしました。ご家庭や自分自身で栄養面のサポートができるように、主にサッカー部やバスケットボール部の生徒の他、多くの保護者の方も参加して熱心に聞いていました。

運動に必要なエネルギー量、体を大きくする食べ方、健康な体作りなどについてわかりやすくお話ししていただきました。「三度の食事は三度のチャンス」と思って、「まごわやさしい」を意識したバランスのとれた食事を心がけることが、体を作るためにも運動でのパフォーマンスを高めるためにも必要だと実感しました。



地域防災訓練

11月19日（日）に本校を避難所として地域防災訓練が行われました。運営委員の方は、無線や特設電話の交信訓練や避難者の受付誘導の訓練などを行いました。地域から80名以上の方の参加があり、簡易炊飯袋を使用してスーパーかまどで米飯を炊いて炊き出し訓練を行ったり、また防災組織の事例を映像で学習したりしました。近い未来には東海地震が来るとも言われています。避難の際には生徒の皆さんも含め地域の方が協力して避難所の運営を行っていくこととなりますから、今回の訓練は非常に有意義なものとなりました。



南戸塚中学校人権標語：それでいい！だって僕らはオリジナル。